

7月アイデア 発表会のまとめ

明日の授業の役立つアイデア満載

アイデア発表会7月

熊本県小学校教育研究会国語部会
会長 濱本 竜一郎
熊本市小学校国語教育研究会
会長 小山 恵子

参加しやすい時間帯!

オンラインで
気軽に参加できる!

日時

令和6年

7月26日

金

17:30-18:30

@オンライン Zoom

発表①

01



子どもの「書く」意欲を育てるために
中島 麗子 先生 (熊本市立向山小学校)

子どもの「書く」力を育むことは容易ではありません。しかし、日々の学習の中で、教師のちょっとしたアドバイスやアイデアを生かすことにより、子どもの学ぶ意欲を高めていくことは可能だと思います。国語の授業ってどのようにデザインしていくと効果的なのか?今年担任している4年生との授業の様子をお伝えする中で、一緒に考え話し合ってみませんか?

発表②

02



「対話力の自覚化～対話力の指標5ラインズの活用～」
中里 宏 先生 (熊本市立楠小学校)

自分の学びの価値を自覚することの重要性は、本県国研でも長年にわたり提案されています。そして、同時に学びにおける対話の重要性も周知の事と思います。しかし、対話に必要な『力』をどう捉え、どのように対話を指導し、自覚させていけば良いのかお悩みの先生は多いのではないのでしょうか。そこで、その対話力の指標となる5ラインズを活用した、対話力の自覚化の実践を、中学年と高学年の特徴を踏まえながら紹介させていただきます。

参加者から・次回予告

対話力の自覚化ー対話力の指標5ラインズの活用ー

中里 宏 先生(熊本市立楠小学校)

SCAN ME



HOME



もう少し詳しく知りたい方は、右のQRコードからメールしていいそうです!

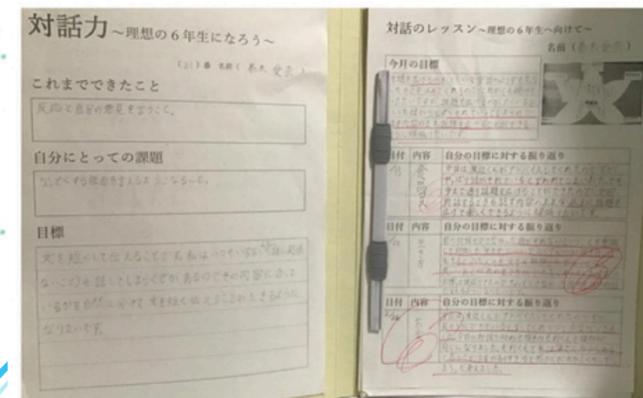
その1. 対話スキルに着目! 「5ラインズ」

「対話的な学びを充実させたい」と、課題(問い)を工夫したり学習の展開や話し合う形態(空間)を工夫したり、先生方も何かしら手立てを考えたことがあるのではないのでしょうか?

中里先生は、「対話スキル」に着目して熊本大学の北川雅浩先生と共同研究されています。今回は北川先生が提唱されている「5ラインズ」を活用した実践について、中学年と高学年の取り組みを中心にご発表いただきました。

その2. 対話力自覚化の実践

低・中学年ではゲームやアクティビティを中心に、高学年では「対話ノート」で自己評価したり友達の実演を観察したりして、対話力の自覚化に取り組んでおられました。子どもたちの意識の変化も見られたようです!



対話ノート (自己評価)

「比較し整理する」ラインを伸ばすアクティビティ「意見のリレー」

「好きな季節(理由)」

私は春が好き。だって… (理由)

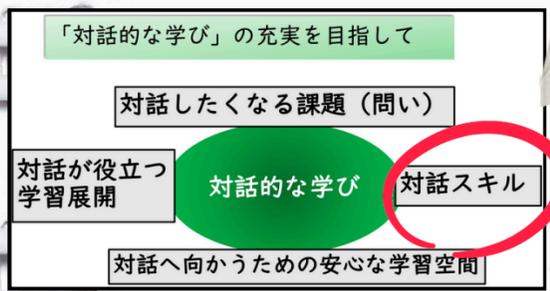
私も〇〇さんと同じで春が好き。だって…

私は〇〇さんと同じで夏が好き。だって…

私は〇〇さんと同じで冬が好き。だって…

リレー「つないでいく」

子供たちの対話力の実態や課題を捉えるための指標



5ラインズとは、子供たちの対話力の実態や課題を捉えるための対話力の指標。

→ 教師も、子供も、どんなスキルを身に付けていけばよいかを検討することができる!

まず、この指標をもとに、自分の学級の対話のようすを分析してみるのもいいですね! 中里先生も、そこから伸ばしたいラインを意識してアクティビティを行ったり、日々の授業で価値付けしたりされていました。

観察者は、この3つの指標で対話を観察、評価する。

観察者

観察者

観察者

対話実演者

ペアのアドバイザー(観察者)

「比較・整理」を頑張るね! ~と似ていてとか、や理

「はっきりさせる」を頑張るね! ~ってこと?とか、どうい

5ラインズ→自分の目標を設定 & 対話の前にペアに目標宣言

ペアのアドバイザー(観察者)

「比較・整理」の「にいて…」って言っていたね。

「はっきりさせる」の「〇〇ってこと」が言えていたね!

5ラインズをもとに相手の目標に沿ったアドバイス

高学年の子どもたちでは、特に「観察した友達からアドバイスをもらう」という方法が、対話力を高めるために役立ったと感じたようです!

参加者からのコメント

中島先生と中里先生、ご発表ありがとうございました。
 中島先生のご発表では、子どもたちが書いてみたくなったり書けそうだと思ったりする手立てがいっぱいあって勉強になりました。書く前とにかく話をすること、あまりやっていたなと思ったので、今度取り組むときはざっくばらんに話をする時間を意識的に取って、子どもたちの思いを大切にしながら授業をしたいと思います。
 中里先生のご発表では、5ラインズをもとに分析することで子どもたちがどんな力をつけていけばよいのか明確になるところが良いなと思いました。また、対話力を見るために二項対立ではなく話合いで2つを決めるなど、話題の立て方も大切だということに気付きました。学んだことをもとに、2学期にあらためて子どもたちにどんな力がついていてどこを伸ばしていくべきかを見極めていきたいです。

@中島先生
 導入時にたくさん児童に話をさせることで、必要感のある課題を持たせるということが大変参考になりました。先生が本単元だけでなく、1年間や学年間の系統性をしっかり把握されて、意図的に準備(戦略?)をされているということが分かり、自分も夏休みに教材研究を頑張ろうとやる気になりました。
 ありがとうございました！
 @中里先生
 本校でも「対話力」の向上を掲げていますが、「じゃあ具体的にどうするか」という深い部分は曖昧だったので、今回の先生の「対話の5ラインズ」はとても新鮮で、取り組んでみようと思いました。低中高での系統立てた取り組みも教えていただいたので、学校全体で取り組めるようカスタマイズして提案してみたいと思います。

本日はありがとうございました。書く前に子どもたち言葉でアウトプットさせ、実態や子どもたちの考えを掴むことの大切さ、対話のスキルを系統化しそれぞれを伸ばしていくための取り組み、とても参考になりました。

本日は、発表ありがとうございました。中島先生、1学期の実践を「書くこと」を中心に着実に積み重ねられていることが伝わり、その実践力に励まされました。何より、目の前の子どもたちの姿から学習活動を創造されているのが大変勉強になりました。教師側の「したい」ではなく、子供たちの「したい」が授業でたくさんあふれているのだと思いました。中里先生、「5ラインズの実践は、このようにしたらいいの!」ということが具体的にわかる継続的な取組でした。着実に対話の様子が変化し充実しているのがわくわくします。先生の緻密に積み重ねられた手立てが、子供たちの話す力や考える力に着実に届いているんですね。先生方の実践を夏休みに吸収して2学期に生かしていきたいと思います。

中島先生・中里先生本日はご発表ありがとうございました。とにかく大事なものは、必要感と積み重ねだと感じました。必要感を子どもが持つからこそ、学習が積み重なっていくんだな〜とお二人の実践を感じさせていただきました。今年は、教科書が変わったこともあり、中島先生の言われる通りに教科書って本当に考えられて作られてますよね。今年も複合単元にできそうなところをたくさん見つけることができました!!ぜひ、これからも先生方のアイデアや考えを聞かせていただけたらと思います!!中島先生・中里先生本日はありがとうございました!

中島先生と中里先生、本日はご発表ありがとうございました。
 「『書く』も『対話』も型を教えこむのではない」ということがお二人に共通していたように感じました!単元との出会わせ方やデザイン、教師も子ども同士も価値付け・自覚化、日常の小さな取り組みの継続が大事だと学びました。

中島先生、中里先生ありがとうございました。児童の姿を中心に考える大切さが改めて分かりました。児童の「~したい。」「~できた。」という学びの姿が見れるように単元デザインを考えていきたいと思えます。

次回予告

熊本市小学校教育研究会国語部会
 会長 濱本 竜一郎
 熊本市小学校国語教育研究会
 会長 小山 恵子

明日の授業の役立つアイデア満載
アイデア発表会 8月

参加しやすい時間帯!
 オンラインで気軽に参加できる!

日時 令和6年 8月23日 金 17:30-18:30 @オンライン Zoom

1 Idea
 振り返りアイデア 3選~「書くこと」&「読むこと」編~
 荒牧 剛志 先生(熊本市立健軍小学校)
 みなさんの教室では振り返りに取り組まれていますか。「なかなか取り組む時間がな
 いんだよなあ。」「何を書かせたらいいの?」「書かせた後、どう活用すればいい?」
 など様々な声が聞こえてきそうです。私も日々持続可能で子どもたちに有益な振り返
 りのあり方を模索しています。今回は「今後も活用していきたい!」と手ごたえを感じた
 振り返りのアイデアを6年生の「書くこと」「読むこと」の単元をもとに紹介します!

2 Idea
 「読むこと」での学びを自覚し活用するために~『鳥獣戯画』を読むの実践から~
 藤田 沙織 先生(嘉島町立嘉島西小学校)
 「読むこと」での学びをどのように活用するか。また、活用するためには、「読むこと」
 の学習で何を学べばいいの?。このように、互いに関連しあっている学習活動の具体を、
 今回は6年生の『鳥獣戯画』を読むの実践をもとに考えていきます。
 「読んだからわかった!」「学んだことを使ってみよう!」と子どもたちが思える単元構成
 を目指し、授業に取り組んでみました。先生方からのアイデアもぜひお聞かせください。

